

(3) 住民意向アンケート調査結果

【調査の概要】

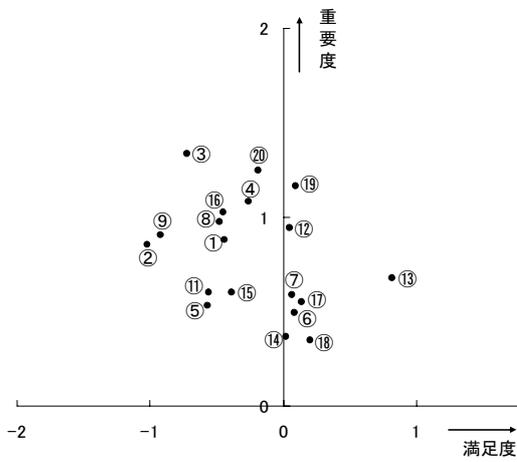
調査目的	・ 国土利用計画花巻市計画及び花巻市都市計画マスタープラン策定にあたって、計画へ住民意向を反映させるため、住民意向を把握するものです。
調査方法	・ 対象者：満 18 歳以上の市民から 2,100 人を無作為抽出（花巻地域 1,450 人、大迫地域 200 人、石鳥谷地域 250 人、東和地域 200 人） ・ 実施時期：平成 19 年 8 月 ・ 配布回収方法：郵送配布、返信用封筒による郵送回収
回答率	・ 回答率：32.5%（配布票数：2,100 票、回答票数：683 票）

【生活環境の評価】

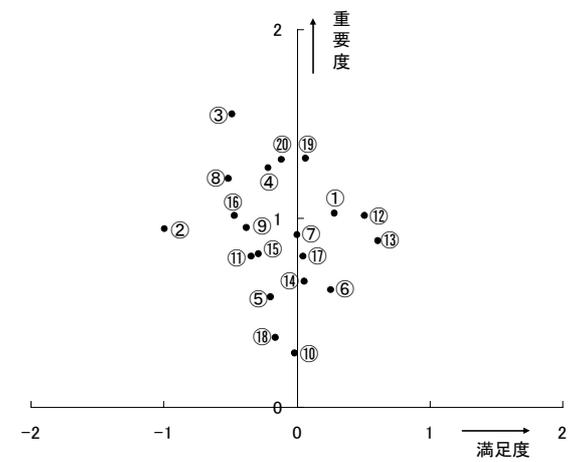
問 1 設問	・ 現在、あなたがお住まいの地域（おおむね中学校区）の生活環境や施設整備の満足度と、今後の整備・改善の必要性（重要度）についてお答えください。
結果概要	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 日常的な買い物の利便性 ② 地域の市街地のにぎわい度 ③ 病院など医療施設の利便性 ④ 介護、福祉施設などの利便性 ⑤ 図書館やスポーツ施設などの利便性 ⑥ 国道や県道など大きな道路の整備 ⑦ 家のまわりの生活道路の整備 ⑧ 歩行者・自転車の安全確保(歩道整備など) ⑨ 鉄道やバスなど公共交通の利便性 ⑩ 野球などスポーツができる大きな公園 ⑪ 身近な小公園や子供の遊び場 ⑫ 生活廃水・雨水の排水(下水道・浄化槽) ⑬ 緑・水辺など自然の豊かさ ⑭ 歴史・文化的な資源を活かしたまちづくり ⑮ まちの景観や良好な街並みづくり ⑯ 空港や新幹線と地域資源を活かした、観光・交流が盛んなまちづくり ⑰ 工業や交通による騒音や振動などの対策 ⑱ 古い家や狭い敷地の家が密集する状況の解消 ⑲ 防犯上の安全性、治安 ⑳ 火災・地震・水害などの防災対策 </div> <p>・ 満足度※の高い項目は、自然の豊かさ、廃水・排水、国県道となっています。低い項目は、にぎわい、医療施設、歩道、公共交通、観光交流、小公園、景観等となっています。</p> <p>・ 重要度※が高い項目は、医療施設、防災対策、治安、歩道等となっています。次いで、公共交通、日常の買物、観光交流となっています。</p> <p>※満足度・重要度 ＝「満足（重要）」を 2 点、「どちらかといえば満足（重要）」を 1 点、「どちらかといえば不満（重要でない）」を（-1）点、「不満（重要でない）」を（-2）点、「わからない」を 0 点として総計し、無回答を除く回答者数で割ったもの。</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市全体を支える骨格的な基盤整備に対する満足度が比較的高くなっています。こうした基盤を市民の暮らしの向上や街の賑わいに活かすため、生活者の視点での細やかな整備や活用方法が課題となっています。 ・ 重要度順に、「安全・安心」と「交わり環境」。市民の生命や財産を支えるための項目（医療・防災・治安・福祉等）を最重要としながらも、次に重要なものとして、交通や買物、観光など、人が移動し回遊し交流するというような項目が挙げられています。

地域別の散布図（満足度・重要度指標）

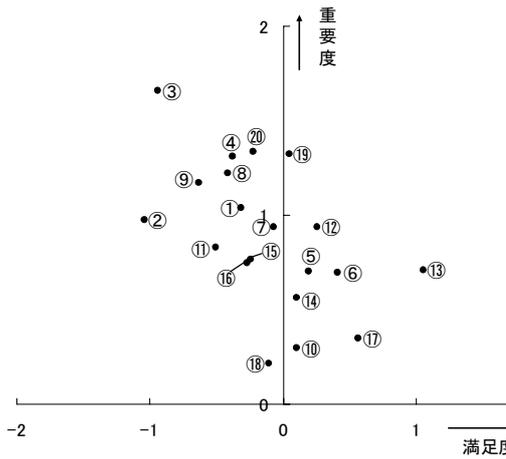
西部地域



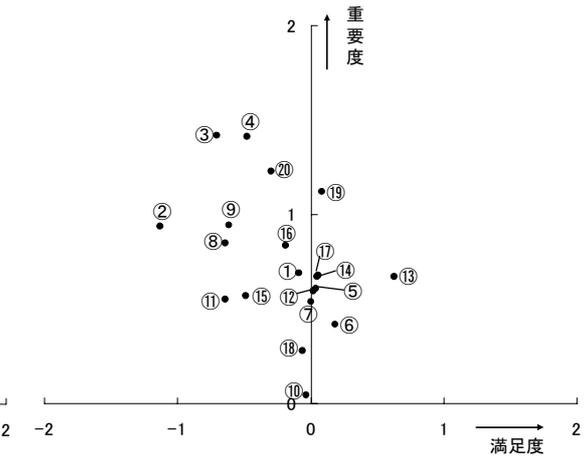
中部地域



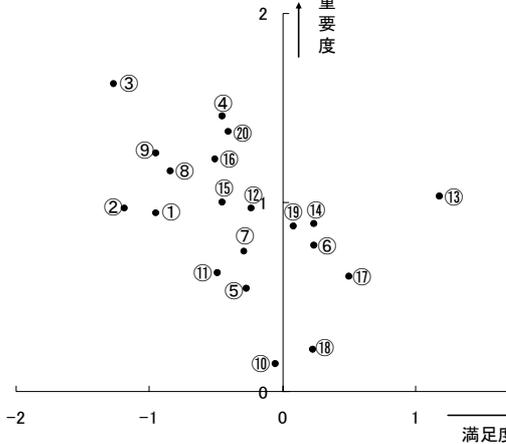
中部北地域



中部南地域



東部地域



- | | |
|--|-----------|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 日常的な買い物の利便性 ② 地域の市街地のにぎわい度 ③ 病院など医療施設の利便性 ④ 介護、福祉施設などの利便性 ⑤ 図書館やスポーツ施設などの利便性 ⑥ 国道や県道など大きな道路の整備 ⑦ 家のまわりの生活道路の整備 ⑧ 歩行者・自転車の安全確保(歩道整備など) ⑨ 鉄道やバスなど公共交通の利便性 ⑩ 野球などスポーツができる大きな公園 ⑪ 身近な小公園や子供の遊び場 ⑫ 生活廃水・雨水の排水(下水道・浄化槽) ⑬ 緑・水辺など自然の豊かさ ⑭ 歴史・文化的な資源を活かしたまちづくり ⑮ まちの景観や良好な街並みづくり ⑯ 空港や新幹線と地域資源を活かした、観光・交流が盛んなまちづくり ⑰ 工業や交通による騒音や振動などの対策 ⑱ 古い家や狭い敷地の家が密集する状況の解消 ⑳ 防犯上の安全性、治安 ㉑ 火災・地震・水害などの防災対策 | <p>凡例</p> |
|--|-----------|

※重要度0以下の項目は散布図中に表示していない。

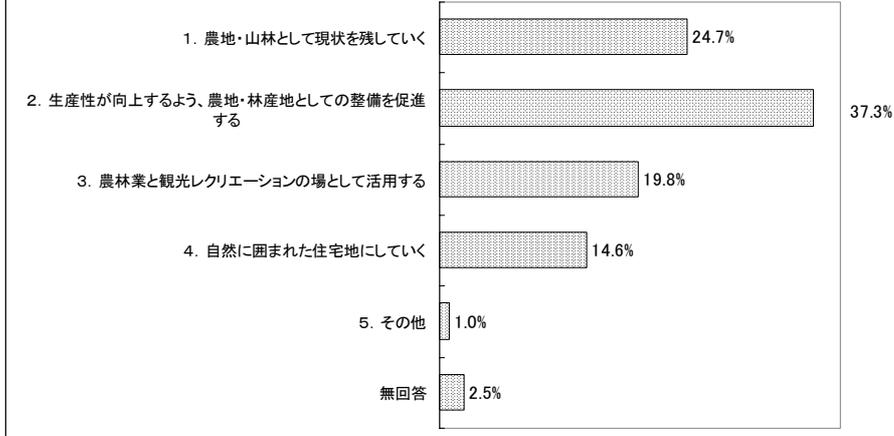
【市の将来イメージ】

問2 設問	<ul style="list-style-type: none"> ・ およそ20年後の花巻市は、どのようなイメージになればよいとお考えですか。(3択) 																														
結果概要	<div data-bbox="443 331 1331 913" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>イメージ</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1. 国道や県道などの道路整備が充実し、車の移動が便利なまち</td><td>56</td></tr> <tr><td>2. バスや鉄道などの公共交通の充実したまち</td><td>77</td></tr> <tr><td>3. みどりや水辺を守り、自然あふれる美しいまち</td><td>160</td></tr> <tr><td>4. 公園や広場、下水道などが充実し、生活環境が整った快適なまち</td><td>100</td></tr> <tr><td>5. 防犯・防災対策に配慮した、安心して住めるまち</td><td>168</td></tr> <tr><td>6. 身近に商業や公共施設などが充実し、生活しやすいまち</td><td>115</td></tr> <tr><td>7. 静かで暮らしやすい住環境が形成されているまち</td><td>76</td></tr> <tr><td>8. 教育施設や子育て支援施設等が充実し、若い世代も多く見られるまち</td><td>214</td></tr> <tr><td>9. 介護福祉施設の充実やバリアフリー化など、高齢者や障がい者も暮らしやすいまち</td><td>210</td></tr> <tr><td>10. 空港や新幹線と地域資源を活かした、観光・交流が盛んなまち</td><td>92</td></tr> <tr><td>11. 病院などの医療体制が充実し、安心して住めるまち</td><td>394</td></tr> <tr><td>12. 若者が働ける環境の整った、生活しやすいまち</td><td>328</td></tr> <tr><td>13. その他</td><td>6</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>16</td></tr> </tbody> </table> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 花巻市の将来像として、暮らしの安心を支える医療・福祉、若い世代が定着するための職や教育関係の項目に対する回答が多くみられます。 ・ また、防犯・防災や自然環境の項目も回答が多くみられます。 ・ 問1の重要度調査では、「交わり」に関する項目が高く評価されましたが、将来像として選ぶ人は決して多くはない結果となりました。 	イメージ	回数	1. 国道や県道などの道路整備が充実し、車の移動が便利なまち	56	2. バスや鉄道などの公共交通の充実したまち	77	3. みどりや水辺を守り、自然あふれる美しいまち	160	4. 公園や広場、下水道などが充実し、生活環境が整った快適なまち	100	5. 防犯・防災対策に配慮した、安心して住めるまち	168	6. 身近に商業や公共施設などが充実し、生活しやすいまち	115	7. 静かで暮らしやすい住環境が形成されているまち	76	8. 教育施設や子育て支援施設等が充実し、若い世代も多く見られるまち	214	9. 介護福祉施設の充実やバリアフリー化など、高齢者や障がい者も暮らしやすいまち	210	10. 空港や新幹線と地域資源を活かした、観光・交流が盛んなまち	92	11. 病院などの医療体制が充実し、安心して住めるまち	394	12. 若者が働ける環境の整った、生活しやすいまち	328	13. その他	6	無回答	16
イメージ	回数																														
1. 国道や県道などの道路整備が充実し、車の移動が便利なまち	56																														
2. バスや鉄道などの公共交通の充実したまち	77																														
3. みどりや水辺を守り、自然あふれる美しいまち	160																														
4. 公園や広場、下水道などが充実し、生活環境が整った快適なまち	100																														
5. 防犯・防災対策に配慮した、安心して住めるまち	168																														
6. 身近に商業や公共施設などが充実し、生活しやすいまち	115																														
7. 静かで暮らしやすい住環境が形成されているまち	76																														
8. 教育施設や子育て支援施設等が充実し、若い世代も多く見られるまち	214																														
9. 介護福祉施設の充実やバリアフリー化など、高齢者や障がい者も暮らしやすいまち	210																														
10. 空港や新幹線と地域資源を活かした、観光・交流が盛んなまち	92																														
11. 病院などの医療体制が充実し、安心して住めるまち	394																														
12. 若者が働ける環境の整った、生活しやすいまち	328																														
13. その他	6																														
無回答	16																														
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「安全・安心」「若い世代」「環境」といった、地域の持続性にかかわるものが選ばれています。 																														

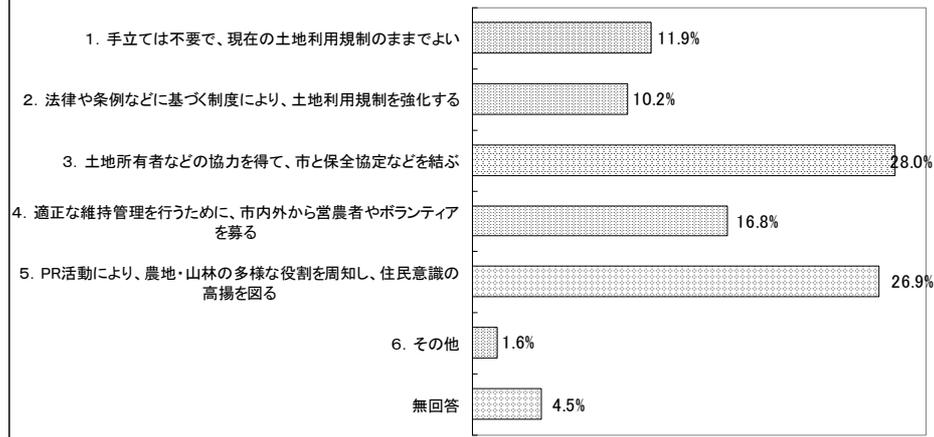
【市街地拡大に関する考え方】

問3 設問	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市街地が農地や里山に広がっていくことについて、どのようにお考えですか。 												
結果概要	<div data-bbox="469 1361 1315 1778" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>考え方</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1. 市街地の拡大は抑え、農地や里山を守り、今ある市街地を充実させたほうがよい</td><td>47.9%</td></tr> <tr><td>2. 良好な開発であれば、多少の市街地拡大をしてもよい</td><td>38.5%</td></tr> <tr><td>3. 農地を宅地化するなど、積極的に市街地を拡大したほうがよい</td><td>10.0%</td></tr> <tr><td>4. その他</td><td>1.3%</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>2.3%</td></tr> </tbody> </table> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市街地の拡大を抑制する方向で考えている市民が5割、良質な拡大ならば容認する市民が4割、積極的な拡大を推す市民が1割となっています。 	考え方	割合	1. 市街地の拡大は抑え、農地や里山を守り、今ある市街地を充実させたほうがよい	47.9%	2. 良好な開発であれば、多少の市街地拡大をしてもよい	38.5%	3. 農地を宅地化するなど、積極的に市街地を拡大したほうがよい	10.0%	4. その他	1.3%	無回答	2.3%
考え方	割合												
1. 市街地の拡大は抑え、農地や里山を守り、今ある市街地を充実させたほうがよい	47.9%												
2. 良好な開発であれば、多少の市街地拡大をしてもよい	38.5%												
3. 農地を宅地化するなど、積極的に市街地を拡大したほうがよい	10.0%												
4. その他	1.3%												
無回答	2.3%												
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存市街地の充実と、良質な新市街地の供給は同程度の支持を集めており、双方のバランスの配慮が必要です。 												

【農地・山林に対する考え方】

問4 設問	・ 市内の農地・山林について、あなたは今後どのようにしていけばよいと考えますか。														
結果概要	 <table border="1" data-bbox="414 336 1308 772"> <thead> <tr> <th>考え方</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 農地・山林として現状を残していく</td> <td>24.7%</td> </tr> <tr> <td>2. 生産性が向上するよう、農地・林産地としての整備を促進する</td> <td>37.3%</td> </tr> <tr> <td>3. 農林業と観光レクリエーションの場として活用する</td> <td>19.8%</td> </tr> <tr> <td>4. 自然に囲まれた住宅地にしていく</td> <td>14.6%</td> </tr> <tr> <td>5. その他</td> <td>1.0%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>2.5%</td> </tr> </tbody> </table> <ul data-bbox="406 806 1375 996" style="list-style-type: none"> ・ 農林産地としての整備促進が37%、現状維持が25%となっています。 ・ 一方、観光レクリエーション機能と併用させる考え方が20%、宅地への転用が15%となっています。 ・ 市民3人のうち2人が、農林産地としての整備促進ないし現状維持、市民3人のうち1人が他用との複合利用や宅地転換という方向性を考えています。 	考え方	割合	1. 農地・山林として現状を残していく	24.7%	2. 生産性が向上するよう、農地・林産地としての整備を促進する	37.3%	3. 農林業と観光レクリエーションの場として活用する	19.8%	4. 自然に囲まれた住宅地にしていく	14.6%	5. その他	1.0%	無回答	2.5%
考え方	割合														
1. 農地・山林として現状を残していく	24.7%														
2. 生産性が向上するよう、農地・林産地としての整備を促進する	37.3%														
3. 農林業と観光レクリエーションの場として活用する	19.8%														
4. 自然に囲まれた住宅地にしていく	14.6%														
5. その他	1.0%														
無回答	2.5%														
まとめ	<ul data-bbox="406 1008 1375 1120" style="list-style-type: none"> ・ 農地・山林は農地・林産地として整備または維持していくことが基本路線として裏付けられる一方、特定の地域や期間、目的等を絞った利用方法の多様化の検討も求められています。 														

【農地・山林の管理方法に対する考え方】

問5 設問	・ 市内の保全すべき農地・山林について、今後どのような手立てが必要と思いますか。																
結果概要	 <table border="1" data-bbox="414 1281 1348 1718"> <thead> <tr> <th>手立て</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 手立ては不要で、現在の土地利用規制のままでよい</td> <td>11.9%</td> </tr> <tr> <td>2. 法律や条例などに基づく制度により、土地利用規制を強化する</td> <td>10.2%</td> </tr> <tr> <td>3. 土地所有者などの協力を得て、市と保全協定などを結ぶ</td> <td>28.0%</td> </tr> <tr> <td>4. 適正な維持管理を行うために、市内外から営農者やボランティアを募る</td> <td>16.8%</td> </tr> <tr> <td>5. PR活動により、農地・山林の多様な役割を周知し、住民意識の高揚を図る</td> <td>26.9%</td> </tr> <tr> <td>6. その他</td> <td>1.6%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>4.5%</td> </tr> </tbody> </table> <ul data-bbox="406 1751 1375 1904" style="list-style-type: none"> ・ 現行の土地利用規制や土地利用規制の強化といった、規制的手法による保全策はそれぞれ1割程度にとどまり、保全協定（28%）や意識高揚（27%）、営農ボランティア（17%）といった、市民が主体性を発揮するようなかたちでの保全策が求められています。 	手立て	割合	1. 手立ては不要で、現在の土地利用規制のままでよい	11.9%	2. 法律や条例などに基づく制度により、土地利用規制を強化する	10.2%	3. 土地所有者などの協力を得て、市と保全協定などを結ぶ	28.0%	4. 適正な維持管理を行うために、市内外から営農者やボランティアを募る	16.8%	5. PR活動により、農地・山林の多様な役割を周知し、住民意識の高揚を図る	26.9%	6. その他	1.6%	無回答	4.5%
手立て	割合																
1. 手立ては不要で、現在の土地利用規制のままでよい	11.9%																
2. 法律や条例などに基づく制度により、土地利用規制を強化する	10.2%																
3. 土地所有者などの協力を得て、市と保全協定などを結ぶ	28.0%																
4. 適正な維持管理を行うために、市内外から営農者やボランティアを募る	16.8%																
5. PR活動により、農地・山林の多様な役割を周知し、住民意識の高揚を図る	26.9%																
6. その他	1.6%																
無回答	4.5%																
まとめ	<ul data-bbox="406 1915 1375 1953" style="list-style-type: none"> ・ 規制的方法と同時に、市民の相互理解に基づくような管理方法の多様化がみられます。 																

【住宅地に対する考え方】

問6 設問	<ul style="list-style-type: none"> 市内の住宅地について、あなたは今後どのようにしていけばよいと考えますか。 												
結果概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回答内容</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 市街地内の農地、空き地などの低未利用地を利用して、宅地を増やしていく</td> <td>22.1%</td> </tr> <tr> <td>2. 市街地周辺の森林や農地を開発して、宅地を増やしていく</td> <td>5.0%</td> </tr> <tr> <td>3. 宅地を増やすよりも、既存の住宅地の住環境の改善などを行う</td> <td>68.1%</td> </tr> <tr> <td>4. その他</td> <td>1.0%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>3.8%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 約7割の市民が、宅地の増加よりも既存住宅地の環境改善を重視しています。 また、市街地内の低未利用地の宅地化も22%の回答となっています。 一方、森林や農地から宅地への転用は5%にとどまっています。 	回答内容	割合	1. 市街地内の農地、空き地などの低未利用地を利用して、宅地を増やしていく	22.1%	2. 市街地周辺の森林や農地を開発して、宅地を増やしていく	5.0%	3. 宅地を増やすよりも、既存の住宅地の住環境の改善などを行う	68.1%	4. その他	1.0%	無回答	3.8%
回答内容	割合												
1. 市街地内の農地、空き地などの低未利用地を利用して、宅地を増やしていく	22.1%												
2. 市街地周辺の森林や農地を開発して、宅地を増やしていく	5.0%												
3. 宅地を増やすよりも、既存の住宅地の住環境の改善などを行う	68.1%												
4. その他	1.0%												
無回答	3.8%												
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどの市民は、市街地内における既存宅地の改善と低未利用地の宅地化を重視しています。宅地に限って言えば、人口密度の低い市街地形成よりも、既存市街地の充填による人口密度の高い市街地形成が期待されているといえます。 												

【商業・業務地に対する考え方】

問7 設問	<ul style="list-style-type: none"> 市内の商業・業務地について、今後どのようにしていけばよいと考えますか。 										
結果概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回答内容</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 郊外での商業施設などの大規模開発を抑制するとともに、既存の商業・業務地の活性化を図る</td> <td>63.8%</td> </tr> <tr> <td>2. 郊外の幹線道路沿い等における農地の土地利用転換を図り、大規模な商業・業務地を拡大する</td> <td>28.3%</td> </tr> <tr> <td>3. その他</td> <td>3.4%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>4.5%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 郊外大型店の開発について、回答者の64%が抑制、26%が容認と、およそ2:1の割合で意見が分かれています。 	回答内容	割合	1. 郊外での商業施設などの大規模開発を抑制するとともに、既存の商業・業務地の活性化を図る	63.8%	2. 郊外の幹線道路沿い等における農地の土地利用転換を図り、大規模な商業・業務地を拡大する	28.3%	3. その他	3.4%	無回答	4.5%
回答内容	割合										
1. 郊外での商業施設などの大規模開発を抑制するとともに、既存の商業・業務地の活性化を図る	63.8%										
2. 郊外の幹線道路沿い等における農地の土地利用転換を図り、大規模な商業・業務地を拡大する	28.3%										
3. その他	3.4%										
無回答	4.5%										
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> コンパクトシティの実現に向けて、郊外大型店の抑制と既存商業地の活性化を基調とすることは概ね指示されていますが、かなり多くの市民が郊外大型店の出店を望んでいることも確かであり、地域によっては総合サービス拠点を補完する郊外商業施設が必要な地区もあると考えられます。 										

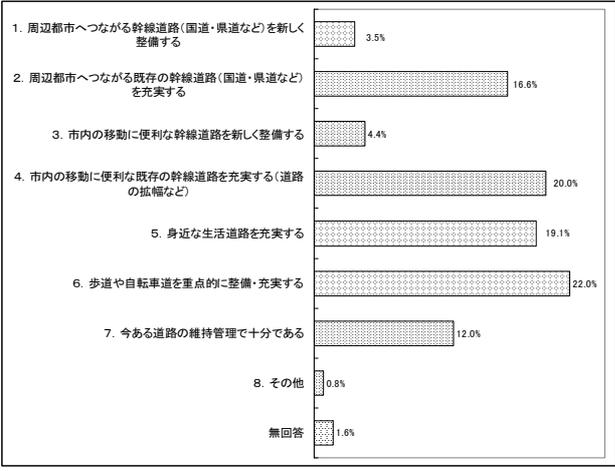
【工業用地に対する考え方】

問8 設問	<ul style="list-style-type: none"> 市内の工業用地について、今後どのようにしていけばよいと考えますか。 												
結果概要	<div data-bbox="427 338 1353 719" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>回答内容</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 今後、新たな工業用地を造成し、企業誘致を図る</td> <td>42.9%</td> </tr> <tr> <td>2. 工業用地は現状程度にとどめ、新たな工業団地は造成しない</td> <td>40.6%</td> </tr> <tr> <td>3. 今後、工業用地は減少させ、住宅地や商業・業務地など他の土地利用をする。</td> <td>8.9%</td> </tr> <tr> <td>4その他</td> <td>3.4%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>4.2%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <ul style="list-style-type: none"> 工業用地の新規造成と現状維持について、両者とも4割の回答を集め、ほぼ拮抗しています。 工業用地を減少させる方向性は9%の回答を集めています。 	回答内容	割合	1. 今後、新たな工業用地を造成し、企業誘致を図る	42.9%	2. 工業用地は現状程度にとどめ、新たな工業団地は造成しない	40.6%	3. 今後、工業用地は減少させ、住宅地や商業・業務地など他の土地利用をする。	8.9%	4その他	3.4%	無回答	4.2%
回答内容	割合												
1. 今後、新たな工業用地を造成し、企業誘致を図る	42.9%												
2. 工業用地は現状程度にとどめ、新たな工業団地は造成しない	40.6%												
3. 今後、工業用地は減少させ、住宅地や商業・業務地など他の土地利用をする。	8.9%												
4その他	3.4%												
無回答	4.2%												
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 新規造成と現状維持のどちらを重視するか、市民意見が大きく分かれています。この問題は若者定住のための職場創出や町の活力といった将来像ばかりでなく、企業ニーズ等の市場動向とも関係してくるため、十分な議論を重ね、方向性を見出していくことが必要です。 												

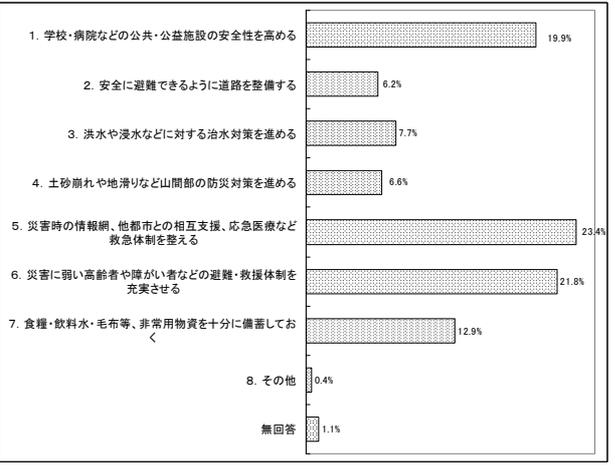
【公共交通に対する考え方】

問9 設問	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道・バスなど公共交通の充実のために、特にどのようなことが必要とお考えですか。(2 択) 																		
結果概要	<div data-bbox="501 1220 1235 1780" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>回答内容</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 鉄道の運行本数・運行時間帯など充実・強化を図る</td> <td>16.2%</td> </tr> <tr> <td>2. バス路線網の再編や運行本数・運行時間帯など充実・強化を図る</td> <td>30.5%</td> </tr> <tr> <td>3. バス停の設置間隔を狭めるなど、利便性を向上する</td> <td>8.0%</td> </tr> <tr> <td>4. バス停の待合所(イス、屋根など)を整備する</td> <td>9.3%</td> </tr> <tr> <td>5. 駅やバス停の周辺に駐車場や駐輪場を整備する</td> <td>21.5%</td> </tr> <tr> <td>6. 主要都市と結ぶ高速バスの充実を図る</td> <td>10.1%</td> </tr> <tr> <td>7. その他</td> <td>2.4%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>2.1%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <ul style="list-style-type: none"> バスの基本的サービス(路線、運行本数、運行時間帯)の充実を求める意見が最も多くなっています。 次いで、駅やバス停の周辺での駐車場・駐輪場の整備、鉄道サービスの充実となっています。 	回答内容	割合	1. 鉄道の運行本数・運行時間帯など充実・強化を図る	16.2%	2. バス路線網の再編や運行本数・運行時間帯など充実・強化を図る	30.5%	3. バス停の設置間隔を狭めるなど、利便性を向上する	8.0%	4. バス停の待合所(イス、屋根など)を整備する	9.3%	5. 駅やバス停の周辺に駐車場や駐輪場を整備する	21.5%	6. 主要都市と結ぶ高速バスの充実を図る	10.1%	7. その他	2.4%	無回答	2.1%
回答内容	割合																		
1. 鉄道の運行本数・運行時間帯など充実・強化を図る	16.2%																		
2. バス路線網の再編や運行本数・運行時間帯など充実・強化を図る	30.5%																		
3. バス停の設置間隔を狭めるなど、利便性を向上する	8.0%																		
4. バス停の待合所(イス、屋根など)を整備する	9.3%																		
5. 駅やバス停の周辺に駐車場や駐輪場を整備する	21.5%																		
6. 主要都市と結ぶ高速バスの充実を図る	10.1%																		
7. その他	2.4%																		
無回答	2.1%																		
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 環境整備よりむしろ、基本的サービスの充実が期待されています。 																		

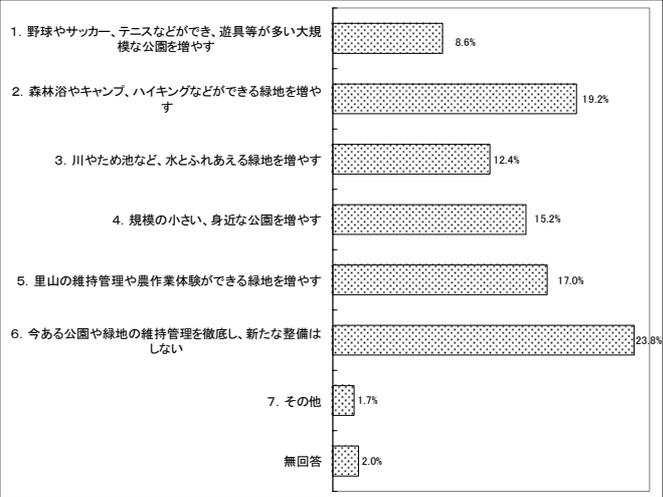
【道路整備に対する考え方】

問 10 設問	<ul style="list-style-type: none"> 花巻市内の道路整備として、特にどのようなことが必要とお考えですか。(2 択)
結果概要	 <ul style="list-style-type: none"> 新設よりも既設道路の改善を必要とする意見が多くみられます。 歩道や自転車道をはじめ、生活道路、新幹線道路それぞれについても、同程度の必要性が挙げられています。 今ある道路の維持管理で十分とする意見が、新設よりも多くなっています。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 道路は新設よりも既設道路の充実が必要とされています。幹線道路、生活道路、歩道等の差はあまりみられません。

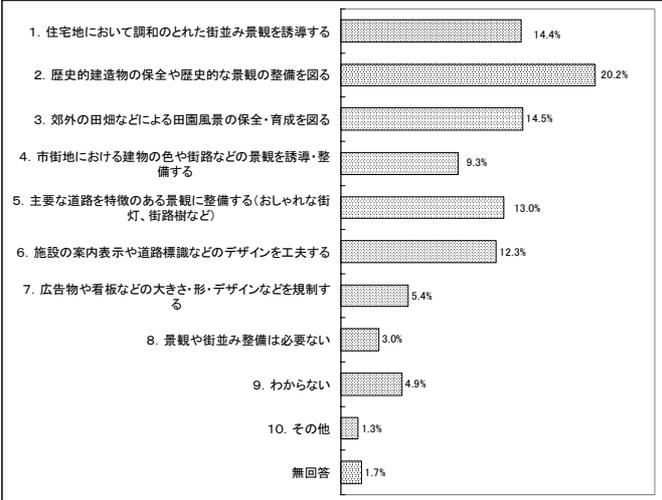
【防災に対する考え方】

問 11 設問	<ul style="list-style-type: none"> 災害に強いまちづくりを進める上で、特にどのようなことに取り組むことが必要とお考えですか。(2 択)
結果概要	 <ul style="list-style-type: none"> 大災害時の生命維持や避難に要する項目に対し、必要性が高く認識されています。情報網の充実や他都市との相互支援、避難に援助を要する人のための体制充実、公共公益施設の安全性向上に対して必要とする意見が多くなっています。次いで非常用物資の備蓄に対する意見が多くなっています。 避難路整備、治水対策、山間地防災対策等への意見は比較的少ない結果となりました。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 大災害時に対する備えを優先しつつ、発生頻度の比較的高い災害に対する施策も進めていく必要があります。

【公園・緑地の整備に対する考え方】

問 12 設問	・ 今後どのような公園・緑地の整備が必要とお考えですか。(2 択)																		
結果概要	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答内容</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 野球やサッカー、テニスなどができ、遊具等が多い大規模な公園を増やす</td> <td>8.6%</td> </tr> <tr> <td>2. 森林浴やキャンプ、ハイキングなどができる緑地を増やす</td> <td>19.2%</td> </tr> <tr> <td>3. 川やため池など、水とふれあえる緑地を増やす</td> <td>12.4%</td> </tr> <tr> <td>4. 規模の小さい、身近な公園を増やす</td> <td>15.2%</td> </tr> <tr> <td>5. 里山の維持管理や農作業体験ができる緑地を増やす</td> <td>17.0%</td> </tr> <tr> <td>6. 今ある公園や緑地の維持管理を徹底し、新たな整備はしない</td> <td>23.8%</td> </tr> <tr> <td>7. その他</td> <td>1.7%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>2.0%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園・緑地の新規整備は抑え、維持管理を徹底するといった意見が多くなっています。 ・ また、新設については、従来型の都市公園よりも、森林浴や農林業体験等の体験型の公園・緑地に対するニーズが高くなっています。 ・ ただし、体験型であっても、水とふれあえる公園緑地は比較的少なく、危険性が配慮された結果と考えられます。 	回答内容	割合	1. 野球やサッカー、テニスなどができ、遊具等が多い大規模な公園を増やす	8.6%	2. 森林浴やキャンプ、ハイキングなどができる緑地を増やす	19.2%	3. 川やため池など、水とふれあえる緑地を増やす	12.4%	4. 規模の小さい、身近な公園を増やす	15.2%	5. 里山の維持管理や農作業体験ができる緑地を増やす	17.0%	6. 今ある公園や緑地の維持管理を徹底し、新たな整備はしない	23.8%	7. その他	1.7%	無回答	2.0%
回答内容	割合																		
1. 野球やサッカー、テニスなどができ、遊具等が多い大規模な公園を増やす	8.6%																		
2. 森林浴やキャンプ、ハイキングなどができる緑地を増やす	19.2%																		
3. 川やため池など、水とふれあえる緑地を増やす	12.4%																		
4. 規模の小さい、身近な公園を増やす	15.2%																		
5. 里山の維持管理や農作業体験ができる緑地を増やす	17.0%																		
6. 今ある公園や緑地の維持管理を徹底し、新たな整備はしない	23.8%																		
7. その他	1.7%																		
無回答	2.0%																		
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園・緑地の維持管理を徹底し、整備にあたっては、体験型のメニューを充実することが期待されています。 																		

【景観形成に対する考え方】

問 13 設問	・ 景観や街並み整備にあたって、特にどのようなことが必要とお考えですか。(2 択)																								
結果概要	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答内容</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 住宅地において調和のとれた街並み景観を誘導する</td> <td>14.4%</td> </tr> <tr> <td>2. 歴史的建造物の保全や歴史的な景観の整備を図る</td> <td>20.2%</td> </tr> <tr> <td>3. 郊外の田畑などによる田園風景の保全・育成を図る</td> <td>14.5%</td> </tr> <tr> <td>4. 市街地における建物の色や街路などの景観を誘導・整備する</td> <td>9.3%</td> </tr> <tr> <td>5. 主要な道路を特徴のある景観に整備する(おしゃれな街灯、街路樹など)</td> <td>13.0%</td> </tr> <tr> <td>6. 施設の案内表示や道路標識などのデザインを工夫する</td> <td>12.3%</td> </tr> <tr> <td>7. 広告物や看板などの大きさ・形・デザインなどを規制する</td> <td>5.4%</td> </tr> <tr> <td>8. 景観や街並み整備は必要ない</td> <td>3.0%</td> </tr> <tr> <td>9. わからない</td> <td>4.9%</td> </tr> <tr> <td>10. その他</td> <td>1.3%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>1.7%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各項目が満遍なく意見を集めている中、比較的多いものが、歴史的建造物の保全や整備です。 ・ 比較的小さいものは、広告物規制、および景観整備不要という意見です。 	回答内容	割合	1. 住宅地において調和のとれた街並み景観を誘導する	14.4%	2. 歴史的建造物の保全や歴史的な景観の整備を図る	20.2%	3. 郊外の田畑などによる田園風景の保全・育成を図る	14.5%	4. 市街地における建物の色や街路などの景観を誘導・整備する	9.3%	5. 主要な道路を特徴のある景観に整備する(おしゃれな街灯、街路樹など)	13.0%	6. 施設の案内表示や道路標識などのデザインを工夫する	12.3%	7. 広告物や看板などの大きさ・形・デザインなどを規制する	5.4%	8. 景観や街並み整備は必要ない	3.0%	9. わからない	4.9%	10. その他	1.3%	無回答	1.7%
回答内容	割合																								
1. 住宅地において調和のとれた街並み景観を誘導する	14.4%																								
2. 歴史的建造物の保全や歴史的な景観の整備を図る	20.2%																								
3. 郊外の田畑などによる田園風景の保全・育成を図る	14.5%																								
4. 市街地における建物の色や街路などの景観を誘導・整備する	9.3%																								
5. 主要な道路を特徴のある景観に整備する(おしゃれな街灯、街路樹など)	13.0%																								
6. 施設の案内表示や道路標識などのデザインを工夫する	12.3%																								
7. 広告物や看板などの大きさ・形・デザインなどを規制する	5.4%																								
8. 景観や街並み整備は必要ない	3.0%																								
9. わからない	4.9%																								
10. その他	1.3%																								
無回答	1.7%																								
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的建造物の保全を図るとともに、自治体にとっては道路や施設デザインの景観的配慮、市民にとっては街並み景観や田園風景の保全等の役割が求められています。 																								

【花巻らしい地域資源】

問 14 設問	<ul style="list-style-type: none"> あなたが市内で“花巻らしさ”を感じるところ、まちを象徴するものや特徴的なもの、魅力的な場所、お気に入りの施設・自然・景観など自慢できるものは何ですか。「どこ(場所)」の「なに(名称など)」か、またそれを挙げる理由について、例を参考に()内に 具体的にご記入ください。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 宮沢賢治関連施設、早池峰山、花巻温泉郷、眺望を望める視点場(円万寺や胡四王山)、各河川に対する意見が多くなっています。 市街地部では、広域公園や城下町の名残、商業地や花巻空港等も挙げられています。

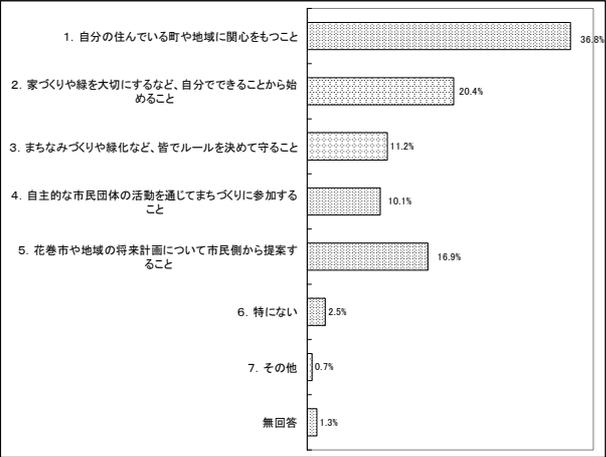
挙げられた地域資源の整理

大分類	中分類	小分類	理由の代表的なキーワード
郷土の偉人	宮 沢 賢 治	記念館一帯	自然、夕日、空気の良さ、四季感 全国的知名度、来客の案内場所、交通利便性 異空間、賢治の世界
		記念館	眺望、緑 郷土出身者、あこがれ、なじみやすさ、賢治の人間性、歴史精神、郷土の誇り、知名度、花巻のメイン
		童話村	自然ふれあい、四季折々の花、散策、施設と自然の調和 親子で行ける、大人も子供も楽しめる
		花時計	子供とゆっくり
		大森山	賢治の絵のモデル
		羅須地人協会	施設の整備の良さ、高校生の対応の良さ、宮沢賢治を身近に感じる
		イギリス海岸	宮沢賢治の世界、水辺と一体、詩的、イギリス、のどか、
		未来都市銀河地球鉄道	花巻＝賢治、幻想的、感動的、宮沢賢治の世界、芸術的、賢治のふるさとらしさ
		賢治詩碑等	一帯の景観、昔の建物、静か、景観
		やぶ屋本店	宮沢賢治にゆかり
	新 渡 戸 稲 造	新渡戸記念館	静か、庭の美しさ
	高 村 光 太 郎	高村山荘	落ち着き、古い物、景観の調和
	萬 鉄 五 郎	記念美術館	旧土沢小学校等の面影、企画の良さ、風景、他市町村に自慢できる
早池峰山	早池峰山	早池峰山	ハヤチネユキソウ、希少な高山植物、地域の象徴的な自然、四季の景観 山容の美しさ、登山、知名度の高さ、ダム紅葉
温泉郷	温泉	全般	自然を見ながらのんびり、やすらぎ、癒し、情緒豊か 建物と自然の調和、景観、水辺の美しさ 全国的に有名、新旧さまざまな宿泊施設、近い、観光地
		花巻・台温泉	ウォーキング、閑静、寛ぎ
		花巻温泉	近い、交通便利 有名、名称に「花巻」入り、滝、歴史、里山、いで湯、良い空気 ゆったり感、落ち着いた建物、静か
		台温泉	有名、源泉、良い空気、湯気、ひなびた感じ、秘湯、なつかしさ、紅葉
		金矢温泉	公園の中の散策

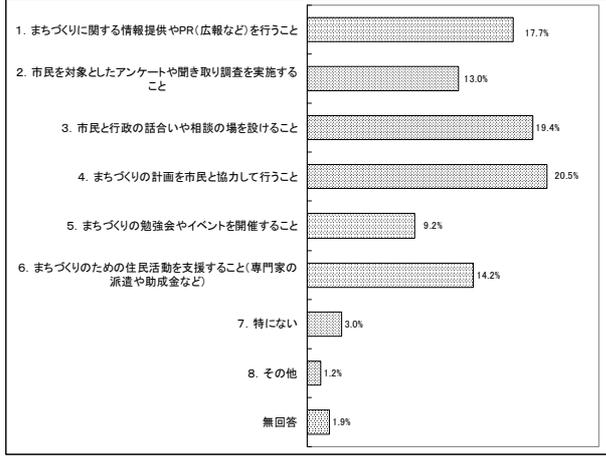
大分類	中分類	小分類	理由の代表的なキーワード
		花巻南温泉峡	自然・森林、良い湯質、様々な温泉が集中、全国的知名度
		大沢温泉	古風、豊沢川を眺めながら、自炊部、温泉風情、和み、昔ながら
		松倉温泉	歴史ある温泉
	散策	釜淵の滝	散策、温泉のそば、街に近いのに山里感、緑豊か、水と緑雄大、涼しげ、和らぎ、癒し
		バラ園	きれい、満開のバラ園
祭りと文化	祭り	花巻まつり	山車、神輿、沢山の催し物、大規模参加が楽しみ、世代間協力、なつかしさ、楽しさ、活気
		大迫の雛祭り	素晴らしい、家庭で大事にしている、無料
	文化的特色	早池峰神楽	国の第一号無形文化財指定、幻想的、観光
		南部杜氏	南部杜氏伝承館、酒造り文化、道の駅、南部杜氏の里
		エーデルワイン	工場の景観
		わんこそば	花巻名物、花巻の食文化
文化のPR	わんこそばのモニュメント、鹿踊りの太鼓が響く自動販売機		
歴史	歴史資源	毘沙門	歴史の重さ・深さ、毘沙門からの風景、泣き相撲、重文
		丹内山神社	眺望、緑豊か、癒し
		清水寺	日本三大清水寺、涼しさ、快い
		その他	陸中33観音
視点場	全市の眺望	円万寺	眺望景観、えぐねの風景、水田風景、米産地の実感、森林浴
		地域の眺望	胡四王山
		館山公園	のどかな風景
		葡萄ヶ丘	大迫
水辺空間	北上川	北上川流域	堤防、高いところからの眺め、雄大
		市街地の水辺	桜並木、安全、夕方の涼しさ、ジョギング、河岸整備の提案
		好地	川と大正橋、周辺の一体的風景
	葛丸川	市街地の水辺	紅葉と川面の調和
		溪流	深緑、紅葉、名勝一の滝、三ツ鞍、森林浴、ダム
	豊沢川	桜並木	河川公園、遊歩道、ライトアップ、水辺と一体的な風景、橋上からの夕焼け、思い出、「花巻」の名にふさわしい、魚取り
		上流	季節ごとの美しさ、きれいな水、釣りと水遊び
		豊沢ダム周辺	紅葉、自然、沢登り、釣り、大空の滝、ブナ林
	稗貫川	稗貫川	合流点、川のきれいさ、水辺の美しさ
	田瀬湖周辺	田瀬ダム	ヨットハーバー、緑と水の調和、自然との親しみ、あやめ苑
	猿ヶ石川	猿ヶ石川	立石、県唯一の岩ヒバ（シダ類）
その他		大堰川の散歩、御水堂	
市街地	城下町の名残	城跡	花巻の歴史と景観、桜、昔の花巻、城下町らしさ、雰囲気大切に
		鳥谷ヶ崎	鳥谷ヶ崎公園・神社、初詣、花火、思い出、桜
		四日町	城下の寺社通りを今に残す、商いらしい街並み、皆の参加
		坂のある街並み	城下町らしい、内陸の町にしては坂が多い
		街道	南城に街道松並木が現存

大分類	中分類	小分類	理由の代表的なキーワード
	商業地	マルカンデパート	40年以上継続、思い出、変わらないところ、買物便利、特徴的品揃え、上町の顔、ソフトクリーム、食堂メニュー、安心
		上町商店街	花巻らしさ、寂れ
		イトーヨーカドー	買物しやすさ
		なはんプラザ	気軽さ
	住宅地	松園	整備された街並み、公園の松、体育館のデザイン、旧花巻電鉄の線路と桜並木の思い出
		星ヶ丘	大規模投資した水辺空間、いちよう並木
		その他	花や街路樹
	都市公園等	花巻広域公園	自然、水辺、緑、自然と施設の調和、眺望 ゴルフ場、運動、広場、遊具、散歩、ペット、スケールの大きさ、管理の良さ、安全、子供がのびのび、どの世代も楽しめる、子育て環境、宮沢賢治関連のものあり
		運動公園	建物・散歩道・公園の一体的景観、広い、緑多い、芝生、子供の声、静か
		ぎんどろ公園	静か、緑豊か、風の又三郎
		その他	万丁目公園、クエレ・パーク
	レクリエーション	戸塚森林公園	岩手山・早池峰山の眺望、北上川の眺望 大自然と野外活動、静か
		スポーツキャンプむら	都会にないスペース
		ゴルフ場	運動
	花巻空港	花巻空港	高速交通の中心、県内唯一、岩手の空の玄関
	福祉施設	福祉施設	はつらつ長寿館、いしどりや荘
	その他	銀河大橋	交通利便性の向上
		太田油脂	悪臭
		ワインハウス	
		富士大学	
農と里山	産直	だあすこ	花巻の農業の力、生活の糧、市民の台所、特産物
		その他	安心・安価、品揃えいろいろ
	農の景観	市全域	自然の美しさと力強さ、新緑の田の色、水田と道路
		大迫町内	全体の景観の良さ
		三郎堤	段々畑を走る電車が宮沢賢治の世界
		幸田の段々畑	開拓者の苦勞
		宮野目付近	岩手県中央部の原風景
		東和町～大迫町	なだらかな丘陵と農地のパノラマ
		外谷地	風の音、虫の音、夜空、癒し
		県道盛岡和賀線	早池峰山の風景、季節の田園景観
たろし滝	豊作の期待		
自然環境	自然環境	内川目	落ち着き、ウスユキ草等花の宝庫
		東和全域	自然環境、気候・人情・田舎が暮らしに最適
その他			花巻らしさはない、文化村、市民の家、昔の面影、1市3町の協力

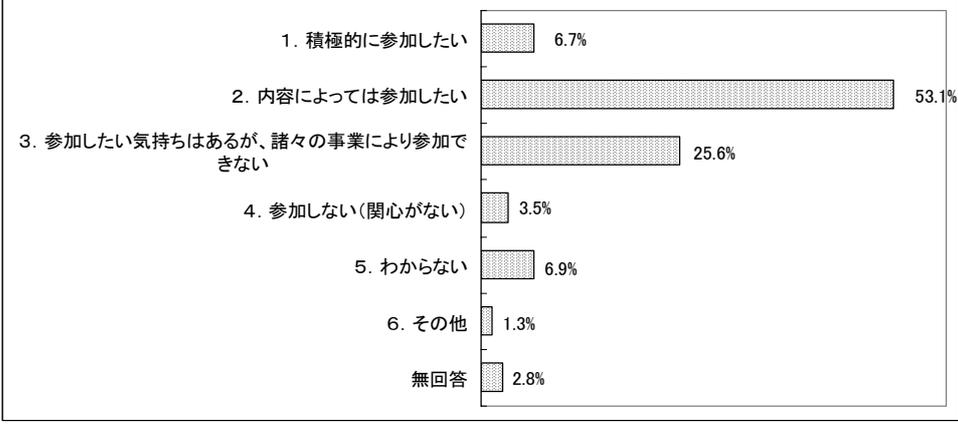
【市民の役割に対する考え方】

<p>問 15 設問</p>	<ul style="list-style-type: none"> 花巻市を魅力あるまちにしていくために、市民皆様の役割として大切だと思われるものは何ですか。(2 択) 																		
<p>結果概要</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 自分の住んでいる町や地域に関心をもつこと</td> <td>38.8%</td> </tr> <tr> <td>2. まちづくりや緑を大切にするなど、自分でできることから始めること</td> <td>20.4%</td> </tr> <tr> <td>3. まちなみづくりや緑化など、皆でルールを決めて守ること</td> <td>11.2%</td> </tr> <tr> <td>4. 自主的な市民団体の活動を通じてまちづくりに参加すること</td> <td>10.1%</td> </tr> <tr> <td>5. 花巻市や地域の将来計画について市民側から提案すること</td> <td>16.9%</td> </tr> <tr> <td>6. 特にない</td> <td>2.5%</td> </tr> <tr> <td>7. その他</td> <td>0.7%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>1.3%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 特に回答が多い項目は、「自分の住んでいる町や地域に関心をもつこと」です。 次いで、「自分でできることから始める」、「計画を提案する」といった、各自が個別に実施できる項目の意見が多く、全体の合意を図る必要があるルールづくりや団体活動等は、比較的低くなっています。 	項目	割合	1. 自分の住んでいる町や地域に関心をもつこと	38.8%	2. まちづくりや緑を大切にするなど、自分でできることから始めること	20.4%	3. まちなみづくりや緑化など、皆でルールを決めて守ること	11.2%	4. 自主的な市民団体の活動を通じてまちづくりに参加すること	10.1%	5. 花巻市や地域の将来計画について市民側から提案すること	16.9%	6. 特にない	2.5%	7. その他	0.7%	無回答	1.3%
項目	割合																		
1. 自分の住んでいる町や地域に関心をもつこと	38.8%																		
2. まちづくりや緑を大切にするなど、自分でできることから始めること	20.4%																		
3. まちなみづくりや緑化など、皆でルールを決めて守ること	11.2%																		
4. 自主的な市民団体の活動を通じてまちづくりに参加すること	10.1%																		
5. 花巻市や地域の将来計画について市民側から提案すること	16.9%																		
6. 特にない	2.5%																		
7. その他	0.7%																		
無回答	1.3%																		
<p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市民一人ひとりの自主性を尊重しながら、自発的取り組みを支援することが民意に沿っています。一方では、ルールづくりや団体活動への参加意欲も少ないとは言い難い状況です。市民への働きかけ方は、必要に応じて使い分けや組み合わせを検討することが必要です。 																		

【行政に対する要望について】

<p>問 16 設問</p>	<ul style="list-style-type: none"> あなたがまちづくりに参加するとき、行政にどのようなことを要望しますか。(2 択) 																				
<p>結果概要</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. まちづくりに関する情報提供やPR(広報など)を行うこと</td> <td>17.7%</td> </tr> <tr> <td>2. 市民を対象としたアンケートや聞き取り調査を実施すること</td> <td>13.0%</td> </tr> <tr> <td>3. 市民と行政の話し合いや相談の場を設けること</td> <td>19.4%</td> </tr> <tr> <td>4. まちづくりの計画を市民と協力して行うこと</td> <td>20.5%</td> </tr> <tr> <td>5. まちづくりの勉強会やイベントを開催すること</td> <td>9.2%</td> </tr> <tr> <td>6. まちづくりのための住民活動を支援すること(専門家の派遣や助成金など)</td> <td>14.2%</td> </tr> <tr> <td>7. 特にない</td> <td>3.0%</td> </tr> <tr> <td>8. その他</td> <td>1.2%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>1.9%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> どの項目も満遍なく回答を集めているが、中でも計画策定時の市民参加、市民と行政が話合う場の設置、情報提供が求められています。 一方、勉強会やイベントの開催は比較的要望が少なくなっています。 	項目	割合	1. まちづくりに関する情報提供やPR(広報など)を行うこと	17.7%	2. 市民を対象としたアンケートや聞き取り調査を実施すること	13.0%	3. 市民と行政の話し合いや相談の場を設けること	19.4%	4. まちづくりの計画を市民と協力して行うこと	20.5%	5. まちづくりの勉強会やイベントを開催すること	9.2%	6. まちづくりのための住民活動を支援すること(専門家の派遣や助成金など)	14.2%	7. 特にない	3.0%	8. その他	1.2%	無回答	1.9%
項目	割合																				
1. まちづくりに関する情報提供やPR(広報など)を行うこと	17.7%																				
2. 市民を対象としたアンケートや聞き取り調査を実施すること	13.0%																				
3. 市民と行政の話し合いや相談の場を設けること	19.4%																				
4. まちづくりの計画を市民と協力して行うこと	20.5%																				
5. まちづくりの勉強会やイベントを開催すること	9.2%																				
6. まちづくりのための住民活動を支援すること(専門家の派遣や助成金など)	14.2%																				
7. 特にない	3.0%																				
8. その他	1.2%																				
無回答	1.9%																				
<p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> アンケートや勉強会といった手法に限定することなく、多様な参加のあり方を検討することも期待されます。 																				

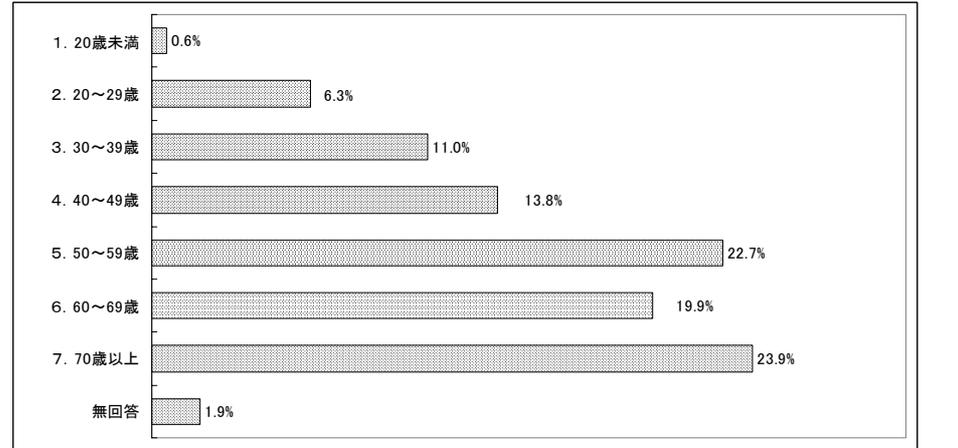
【市民参加に対する考え方】

問 17 設問	<ul style="list-style-type: none"> あなたはまちづくりに関する市民参加の機会（意見交換会や学習会、その他まちづくりに関するイベントなど）があれば、参加しますか。
結果概要	 <ul style="list-style-type: none"> 参加しない（関心がない）という回答はわずか 4%にとどまり、ほとんどの回答者は参加意欲を示しています。 しかし、「事情により参加できない」が 26%となっています。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 「内容によって参加」が 53%となっており、市民参加の内容の工夫次第では、この層に属する多数の市民の力をまちづくりのエネルギーに変えることが可能と考えられます。

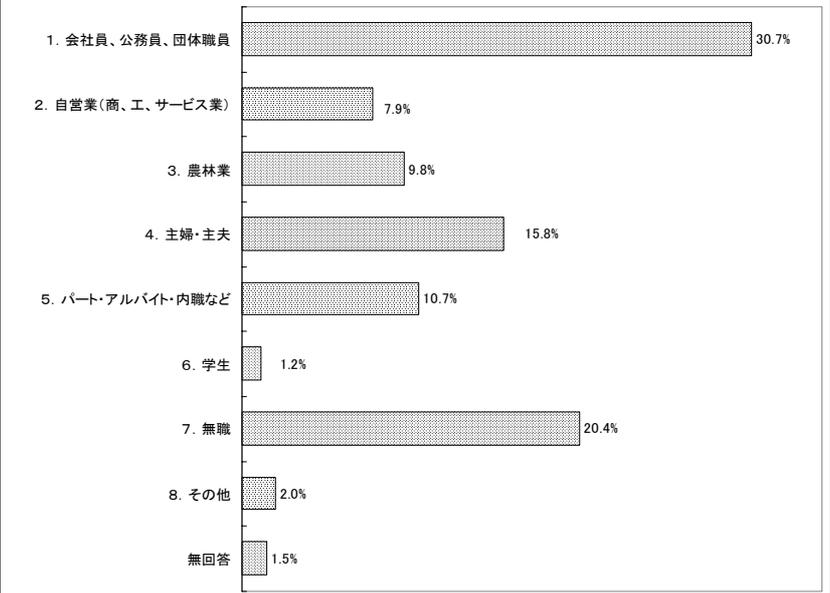
【回答者の性別】

問 18 設問	<ul style="list-style-type: none"> あなたの性別は、どちらですか。
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> 女性 51%、男性 47%となっています。

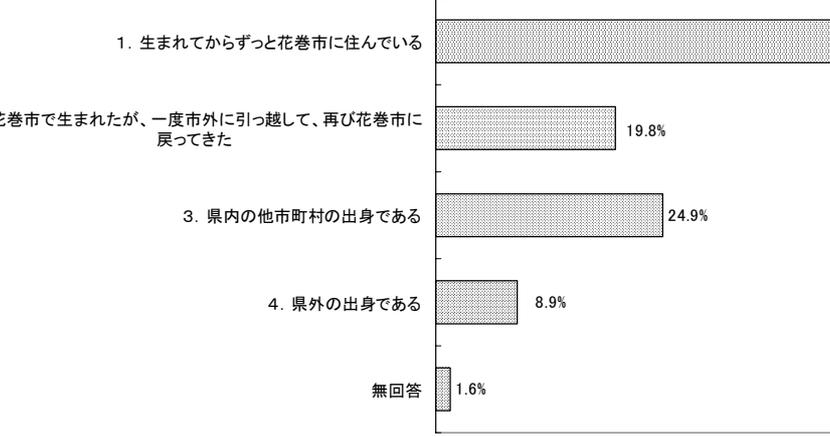
【回答者の年齢】

問 19 設問	<ul style="list-style-type: none"> あなたの年齢は、いくつですか。
結果概要	 <ul style="list-style-type: none"> 概ね年齢が高いほど回答者数が多く、特に 50 歳以上が多い結果となりました。

【回答者の職業】

問 20 設問	<ul style="list-style-type: none"> あなたの主な職業は、何ですか。 																				
結果概要	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>職業</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 会社員、公務員、団体職員</td> <td>30.7%</td> </tr> <tr> <td>2. 自営業(商、工、サービス業)</td> <td>7.9%</td> </tr> <tr> <td>3. 農林業</td> <td>9.8%</td> </tr> <tr> <td>4. 主婦・主夫</td> <td>15.8%</td> </tr> <tr> <td>5. パート・アルバイト・内職など</td> <td>10.7%</td> </tr> <tr> <td>6. 学生</td> <td>1.2%</td> </tr> <tr> <td>7. 無職</td> <td>20.4%</td> </tr> <tr> <td>8. その他</td> <td>2.0%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>1.5%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 回答者の職種は、多い順に「会社員、公務員、団体職員」が 31%、次いで「無職」が 20%、「主婦・主夫」が 16%となっています。 「パート・アルバイト等」「農林業」「自営業」はそれぞれ 8～11%程度でした。 	職業	割合	1. 会社員、公務員、団体職員	30.7%	2. 自営業(商、工、サービス業)	7.9%	3. 農林業	9.8%	4. 主婦・主夫	15.8%	5. パート・アルバイト・内職など	10.7%	6. 学生	1.2%	7. 無職	20.4%	8. その他	2.0%	無回答	1.5%
職業	割合																				
1. 会社員、公務員、団体職員	30.7%																				
2. 自営業(商、工、サービス業)	7.9%																				
3. 農林業	9.8%																				
4. 主婦・主夫	15.8%																				
5. パート・アルバイト・内職など	10.7%																				
6. 学生	1.2%																				
7. 無職	20.4%																				
8. その他	2.0%																				
無回答	1.5%																				

【回答者の出身地】

問 21 設問	<ul style="list-style-type: none"> あなたの出身地は、どこですか。 												
結果概要	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>出身地</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 生まれてからずっと花巻市に住んでいる</td> <td>44.8%</td> </tr> <tr> <td>2. 花巻市で生まれたが、一度市外に引っ越して、再び花巻市に戻ってきた</td> <td>19.8%</td> </tr> <tr> <td>3. 県内の他市町村の出身である</td> <td>24.9%</td> </tr> <tr> <td>4. 県外の出身である</td> <td>8.9%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>1.6%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 「生まれてからずっと花巻市に住んでいる」と答えた割合が 45%を占めています。 市外出身者を含め、市外での生活経験者を合わせると、全体の半数を超えています。 	出身地	割合	1. 生まれてからずっと花巻市に住んでいる	44.8%	2. 花巻市で生まれたが、一度市外に引っ越して、再び花巻市に戻ってきた	19.8%	3. 県内の他市町村の出身である	24.9%	4. 県外の出身である	8.9%	無回答	1.6%
出身地	割合												
1. 生まれてからずっと花巻市に住んでいる	44.8%												
2. 花巻市で生まれたが、一度市外に引っ越して、再び花巻市に戻ってきた	19.8%												
3. 県内の他市町村の出身である	24.9%												
4. 県外の出身である	8.9%												
無回答	1.6%												

【回答者の居住地】

問 22 設問	・ あなたのお住まいは、どちらですか。(住所の自由記入式)
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住所を地域別に集計すると以下のとおりとなりました。 ・ 西部森林地域： 0人 ・ 西部地域： 95人 ・ 中部地域： 370人 ・ 中部北地域： 87人 ・ 中部南地域： 74人 ・ 東部地域： 40人 ・ 未記入： 0人

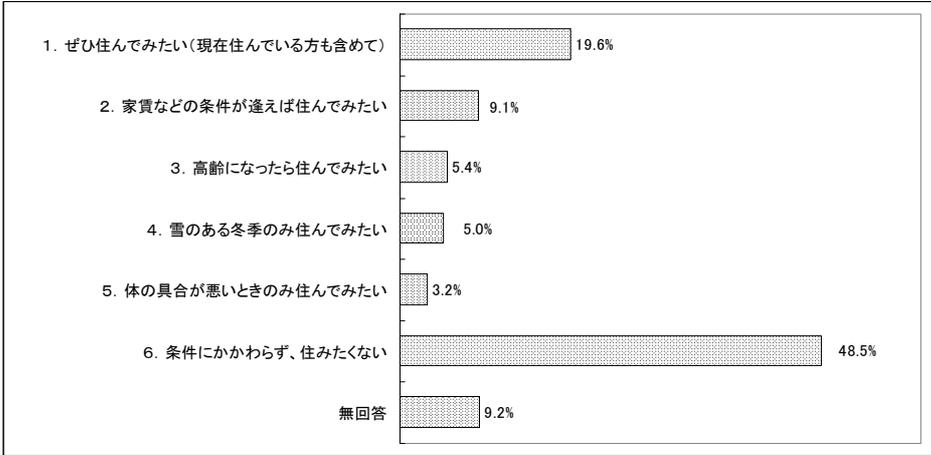
【回答者の家族構成】

問 23 設問	・ あなたといっしょにお住まいの家族の構成は、次のうちどれですか。
結果概要	<p>・ 二世代、三世代で構成される家族と答えた者が全体の約7割を占めています。</p> <p>・ 夫婦のみの家族が20%、単身者が6%です。</p>

【回答者の住まい】

問 24 設問	・ あなたのお住まいは、次のうちどれですか。
結果概要	<p>・ ほとんどの回答者が持ち家に住んでいます。</p>

【街なか居住に対する考え方】

問 25 設問	・ あなたは今後、中心市街地に住む希望をお持ちですか。
結果概要	 <p>1. ぜひ住んでみたい(現在住んでいる方も含めて) 19.6%</p> <p>2. 家賃などの条件が逢えば住んでみたい 9.1%</p> <p>3. 高齢になったら住んでみたい 5.4%</p> <p>4. 雪のある冬季のみ住んでみたい 5.0%</p> <p>5. 体の具合が悪いときのみ住んでみたい 3.2%</p> <p>6. 条件にかかわらず、住みたくない 48.5%</p> <p>無回答 9.2%</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「条件にかかわらず、住みたくない」が最も多く、およそ半数を占めています。 ・ 一方で、「ぜひ住んでみたい」が2割を占めたほか、家賃等の条件次第で住んでみたいと考えている回答者が合わせて2割程度となっています。
	・ 決して高いとは言えないものの、ある程度は街なか居住ニーズがあると考えられます。

【自由回答】

結果概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>意見の種類</th> <th>意見数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活環境についての具体的な問題提起や提案(問1を補うような意見)</td> <td>244</td> </tr> <tr> <td>行政、自治について(市政批判、市民参加、まちづくりのスピード等)</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>習慣や価値観について(男女差別、保守的な気質、マナー等)</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>職業や収入について</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>アンケートそのものについて(回答できません等)</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>延意見数</td> <td>443</td> </tr> </tbody> </table>	意見の種類	意見数	生活環境についての具体的な問題提起や提案(問1を補うような意見)	244	行政、自治について(市政批判、市民参加、まちづくりのスピード等)	76	習慣や価値観について(男女差別、保守的な気質、マナー等)	14	職業や収入について	24	アンケートそのものについて(回答できません等)	19	その他	66	延意見数	443																												
	意見の種類	意見数																																											
生活環境についての具体的な問題提起や提案(問1を補うような意見)	244																																												
行政、自治について(市政批判、市民参加、まちづくりのスピード等)	76																																												
習慣や価値観について(男女差別、保守的な気質、マナー等)	14																																												
職業や収入について	24																																												
アンケートそのものについて(回答できません等)	19																																												
その他	66																																												
延意見数	443																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>生活環境についての問題提起や提案の細目別意見数</th> <th>意見数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常的な買い物の利便性</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>地域の市街地のにぎわい度</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>病院など医療施設の利便性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>介護、福祉施設などの利便性</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>図書館やスポーツ施設などの利便性</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>国道や県道など大きな道路の整備</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>家のまわりの生活道路の整備</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>歩行者・自転車の安全確保(歩道整備など)</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>鉄道やバスなど公共交通の利便性</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>野球などスポーツができる大きな公園</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>身近な小公園や子供の遊び場</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>生活排水・雨水の排水(下水道・浄化槽)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>緑・水辺など自然の豊かさ</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>歴史・文化的な資源を活かしたまちづくり</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>まちの景観や良好な街並みづくり</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>空港や新幹線と地域資源を活かした、観光・交流が盛んなまちづくり</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>工場や交通による騒音や振動などの対策</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>古い家や狭い敷地の家が密集する状況の解消</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>防犯上の安全性、治安</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>火災・地震・水害などの防災対策</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>244</td> </tr> </tbody> </table>	生活環境についての問題提起や提案の細目別意見数	意見数	日常的な買い物の利便性	11	地域の市街地のにぎわい度	37	病院など医療施設の利便性	15	介護、福祉施設などの利便性	8	図書館やスポーツ施設などの利便性	13	国道や県道など大きな道路の整備	21	家のまわりの生活道路の整備	5	歩行者・自転車の安全確保(歩道整備など)	12	鉄道やバスなど公共交通の利便性	20	野球などスポーツができる大きな公園	1	身近な小公園や子供の遊び場	8	生活排水・雨水の排水(下水道・浄化槽)	4	緑・水辺など自然の豊かさ	27	歴史・文化的な資源を活かしたまちづくり	24	まちの景観や良好な街並みづくり	9	空港や新幹線と地域資源を活かした、観光・交流が盛んなまちづくり	15	工場や交通による騒音や振動などの対策	4	古い家や狭い敷地の家が密集する状況の解消	1	防犯上の安全性、治安	0	火災・地震・水害などの防災対策	9	計	244
生活環境についての問題提起や提案の細目別意見数	意見数																																												
日常的な買い物の利便性	11																																												
地域の市街地のにぎわい度	37																																												
病院など医療施設の利便性	15																																												
介護、福祉施設などの利便性	8																																												
図書館やスポーツ施設などの利便性	13																																												
国道や県道など大きな道路の整備	21																																												
家のまわりの生活道路の整備	5																																												
歩行者・自転車の安全確保(歩道整備など)	12																																												
鉄道やバスなど公共交通の利便性	20																																												
野球などスポーツができる大きな公園	1																																												
身近な小公園や子供の遊び場	8																																												
生活排水・雨水の排水(下水道・浄化槽)	4																																												
緑・水辺など自然の豊かさ	27																																												
歴史・文化的な資源を活かしたまちづくり	24																																												
まちの景観や良好な街並みづくり	9																																												
空港や新幹線と地域資源を活かした、観光・交流が盛んなまちづくり	15																																												
工場や交通による騒音や振動などの対策	4																																												
古い家や狭い敷地の家が密集する状況の解消	1																																												
防犯上の安全性、治安	0																																												
火災・地震・水害などの防災対策	9																																												
計	244																																												
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意見の種類別に集計すると、その多くが生活環境についての具体的な問題提起や提案に関するもの(問1を補うような意見)でした。 ・ そうした意見を問1の項目に合わせて細分すると、最も多いのは「地域の市街地のにぎわい度」に関する意見であり、次いで「緑・水辺など自然の豊かさ」「歴史・文化的な資源を活かしたまちづくり」「国道や県道など大きな道路の整備」「鉄道やバスなど公共交通の利便性」等と続きます。 																																												